

史観第一八〇冊

海老澤衷教授 年譜・主要著作目録



年 譜

- 一九四八年一〇月三日 東京都西多摩郡古里村に生まれる
- 一九六四年四月 都立多摩高等学校に入学
- 一九七〇年四月 早稲田大学第一文学部に入学
- 一九七四年四月 早稲田大学大学院修士課程に入学
- 一九七六年四月 早稲田大学大学院博士後期課程に進学
- 一九八〇年四月 大分県教育庁研究員
- 一九八七年四月 早稲田大学文学部専任講師
- 一九九〇年四月 早稲田大学文学部助教授
- 一九九五年四月 早稲田大学文学部教授
- 二〇〇〇年九月 早稲田大学大学院文学研究科教務委員（二〇〇二年九月まで）
- 二〇〇一年六月 「博士（文学）早稲田大学」授与

- 二〇〇四年一月 早稲田大学教務部副部長就任（二〇〇六年十一月まで）
 二〇一〇年四月 日本学術振興会学術システム研究センター専門研究員（二〇一三年三月まで）
 二〇一二年九月 早稲田大学文学学術院副学術院長・大学院文学研究科長・総合人文科学研究センター所長（二〇一四年九月まで）
 二〇一四年四月 文化審議会文化財分科会専門委員（定年時まで継続）
 同 九月 早稲田大学副研究院長（二〇一六年九月まで）
 二〇一九年三月 早稲田大学定年退職

主要著作目録

著書

- 二〇〇〇年 二月 『莊園公領制と中世村落』校倉書房
 二〇〇五年 三月 『景観に歴史を読む 史料編』早稲田大学文学学術院
 同 九月 『景観に歴史を読む 史料編 増補版』トランスアート

編著

- 二〇〇五年 三月 『講座水稻文化研究Ⅰ 古代・中世仏教寺院の水田開発と水稻文化』水稻文化研究所
 二〇〇六年 三月 『講座水稻文化研究Ⅱ バリ島の水稲文化と儀礼―カランガスム県バサンアラス村を中心として―』水稻文化研究所
 二〇〇七年 三月 『講座水稻文化研究Ⅲ ジャボニカの起源と伝播／伊予国弓削島荘の調査』水稻文化研究所
 二〇〇八年 九月 『講座水稻文化研究Ⅳ バリ島研究の新たな展開』水稻文化研究所
 二〇一一年一月 『講座水稻文化研究Ⅴ バリ島ゲルゲル王朝とスバック・グデ・スウェチャプラ』水稻文化研究所

二〇一八年 七月 『中世荘園村落の環境歴史学―東大寺領美濃国大井荘の研究―』 吉川弘文館

二〇一九年 二月 『よみがえる荘園―景観に刻まれた中世の記憶―』 勉誠出版

同 二月 『アジア遊学 230 世界遺産バリの文化戦略―水稲文化と儀礼がつくる地域社会―』 勉誠出版

共編著

二〇〇三年 四月 『古文書演習―様式と解釈―』（芝辻俊六・本郷和人共編）

二〇一二年 六月 『アジア遊学 153 重要文化的景観への道―エコ・サイトミュージアム田染荘―』（服部英雄・飯沼賢司共編） 勉誠出版

二〇一四年 六月 『中世荘園の環境・構造と地域社会―備中国新見荘をひらく―』（高橋敏子共編） 勉誠出版

同 一二月 『アジア遊学 178 中世の荘園空間と現代―備中国新見荘の水利・地名・たたら―』（酒井紀美・清水克行共編） 勉誠出版

水克行共編） 勉誠出版

二〇一七年 三月 『朝河貫一と日欧中世史研究』（近藤成一・甚野尚志共編） 吉川弘文館

二〇一九年 三月 『朝河貫一と人文学の形成』（近藤成一・甚野尚志共編） 吉川弘文館

調査・研究報告

一九七三年一〇月 『黒田庄現地調査概報』（竹内理三ほか共同） 早稲田大学竹内研究室

一九八一年 二月 『豊後国田染荘の復原調査』『日本歴史』 三九三号

一九八四年 三月 『豊後国玖珠城の歴史的 성격』 大分県玖珠市教育委員会 『伐株山城跡』

同 一〇月 『富貴寺の歴史的 성격』 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館 『富貴寺』

一九八五年 三月 『文献史的調査の成果』 大分県玖珠町教育委員会 『小竿遺跡』

一九八六年 三月 『豊後国田染荘の調査Ⅰ』（共同） 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館

一九八七年 三月 『豊後国田染荘の調査Ⅱ』（共同） 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館

一九九〇年 三月 『上野遺跡』（共同） 大分県豊後高田市教育委員会

一九九四年 三月 「梅牟礼城の堀切り・堅堀群とその歴史的 성격」 大分県佐伯市教育委員会『梅牟礼城関連遺跡発掘調査報告書』

同 三月 「小野地区の石造文化財（オオヤ・財前家墓地・財前家近世墓地）・「田原谷の灌漑・地名調査 小結」 開発ブロックの設定」 大分県大田村教育委員会『豊後国田原別符の調査Ⅱ―田原谷の中世石造物―』

一九九九年一〇月 『紀伊国鞆淵荘地域総合調査 本編』 科学研究費基盤研究C（研究代表者）

二〇〇一年 三月 「広域水田遺跡の軌跡―国東半島における二十年―」 日本歴史六三五号

同 七月 「棚田のルーツをさぐる」 日本の原風景・棚田二号

二〇〇三年一二月 「対馬・バリ島・劇場国家」 『アジア地域文化エンハンシング研究センター国際シンポジウム「アジア地域文化の構築」資料集』

二〇〇四年 三月 『東アジアにおける水田形成および水稻文化の研究』（日本を中心として） 科学研究費基盤研究（B）（2）（研究代表者）

二〇〇八年 三月 『東アジア村落における水稻文化の儀礼と景観』 科学研究費基盤研究（A）（2）（研究代表者）

自治体史編纂

一九八二年 三月 『大分県史 中世編 I』（渡辺澄夫ほか共同） 大分県

一九八四年 三月 『大分県史 古代編 II』（新川登亀男ほか共同） 大分県

一九八五年 三月 『大分県史 中世編 II』（橋本操ほか共同） 大分県

一九九六年 九月 『豊後高田市史特論編くにさきの世界』（共同） 豊後高田市

一九九八年 八月 『豊後高田市史』（共同） 豊後高田市

分担執筆

一九八〇年 五月 「一九七九年の歴史学界（回顧と展望）」（瀬野精一郎ほか分担） 史学会（東京大学） 史学雑誌八九・五

一九八二年 八月 「キリシタン大名の海と愛」 峰岸純夫編『日本史の舞台6』 集英社

一九九一年一〇月 「豊後国田染荘」『シンポジウム 中世のムラと現代』 大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館

一九九二年 五月 「一九九一年の歴史学界（回顧と展望）」（瀬野精一郎ほか分担）史学会（東京大学）史学雑誌一〇一

一五

一九九五年 三月 「豊後国田染荘」石井進編『中世のムラ―景観は語りかける―』 東京大学出版会

一九九六年 二月 「梅牟礼城と小田山城」『弥生町誌』 大分県弥生町

一九九八年 三月 歴史学研究會編『日本史史料2 中世』 岩波書店

同 三月 「国東半島の春」再訪『竹内理三 人と学問』 東京堂出版

同 一月 「豊後国田染荘の保存をめぐる」『あるく中世』 一三

一九九九年一〇月 『岩波日本史辞典』 岩波書店

二〇〇〇年一二月 「相統と女性」総合女性史研究会編『史料に見る日本女性の歩み』 吉川弘文館

二〇〇二年 二月 「水無川の中分斗」山陰加春夫編『きのくに荘園の世界 下巻』 清文堂

二〇〇三年 四月 「オンデマンド授業の未来」戸山リサーチセンターシンポジウム記録

二〇〇四年一二月 「棚田―東アジアの景観と棚田」『歴史を読む』 東京大学出版会

二〇〇五年 二月 「豊前国（大分県側）、豊後国、田染荘」『講座日本荘園史10』 吉川弘文館

論文

一九七七年 五月 「辺境荘園の成立過程とその存在形態」『民衆史研究』 一五

一九七八年 三月 「島津荘内薩摩方地頭守護職」に関する一考察『史観』 九八

一九七九年 一月 「日向国における別符の歴史的意義について」『日本歴史』 三六八

一九八〇年 二月 「鎌倉時代における豊後国の国衙領について」『西南地域史研究』 三

同 三月 「豊後国大田文の基本的性格」『早稲田大学文学研究科紀要 別冊』 二五

- 一九八〇年 四月 「若狭国惣田数帳における「浦」について」『莊園制社会と身分構造』校倉書房
- 一九八一年 一月 「豊後国大田文の伝写過程と現存写本」『九州中世社会の研究』第一法規
- 一九八四年 三月 「中世水田開発史序説」『大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館研究紀要』一
- 一九八六年 三月 「広域水田遺跡調査と豊後国田染荘」『大分県地方史』一一九
- 同 七月 「中世村落の復原の問題点」『地方資料センター歴史地名通信』八
- 同 一二月 「条里制水田と莊園村落」『条里制研究』二
- 一九八七年 三月 「応神天皇と八幡信仰」『MUSEUM KYUSHU』六一四
- 一九八八年 三月 「田染宇佐氏の系譜について」『史観』一一八
- 同 七月 「中世城館の歴史の変遷」『月刊文化財』二九八
- 一九九一年 九月 「宇佐榮忠と豊後国田染荘」『早稲田大学大学院文学研究科紀要 哲学・史学編』三六
- 同 九月 「豊後国田染荘の復原と景観保存」『中世の村落と現代』吉川弘文館
- 同 一一月 「中世における莊園景観と名体制」『歴史学研究』六二六
- 一九九二年 五月 「中世村落の復原と景観保存―和泉国日根荘の場合―」『民衆史研究』四三
- 一九九三年 一一月 「中世村落の復原」『岩波講座日本通史7 中世1』岩波書店
- 一九九五年 三月 「近世絵図による中世居住空間の復原」『描かれた莊園の世界』新人物往来社
- 一九九七年 一月 「棚田と水資源―豊後国大野荘の場合―」『月刊文化財』四〇〇
- 一九九九年 九月 「九州における莊園公領制の形成と鎌倉幕府」『鎌倉遺文研究Ⅰ 鎌倉時代の政治経済』東京堂出版
- 二〇〇〇年 七月 「ノビル畑から棚田へ―紀伊国阿弓河荘の故地にみる棚田開発―」『棚田学会誌 日本原風景・棚田』一
- 二〇〇二年 五月 「歴史博物館における展示叙述の可能性」『民衆史研究』六三
- 同 一一月 「荒川荘の調査―紀ノ川流域莊園調査のパイロット的役割を果たす―」『和歌山地方史研究』四四

二〇〇三年一〇月 「伊賀国黒田荘における寺僧私領の展開と終焉―畿内に近接した東大寺領荘園の特質―」『鎌倉遺文研究』一一一

二〇〇四年 三月 「集落・儀礼・水田の復原研究―対馬とバリ島―」『アジア地域文化エンハンシング研究センター報告集』Ⅱ

二〇〇六年 三月 「村の水利からみたバリ・劇場国家と日本の前近代社会」『アジア地域文化学の構築』雄山閣
同 三月 「早稲田大学の教務部・オープン教育センターにおける初年次教育」『大学における初年次導入教育中間報告』早稲田大学教育総合研究所

同 三月 「対馬における照葉樹林の保護について」『アジア地域文化エンハンシング研究センター報告集』四

同 七月 「アジアにおける照葉樹林と棚田」『棚田学会誌 日本の原風景・棚田』七

同 一月 「日本の灌漑システムの特徴と荘園景観の保存」『ヒストリア』二〇二

二〇〇七年 三月 「東アジアの水利社会におけるバリ島の位置」『アジア地域文化エンハンシング研究センター報告集』五

同 三月 「対馬における天道信仰と照葉樹林の保護」『アジア地域文化学叢書 9 海のクロスロード対馬―21世紀COEプログラム研究集成―』雄山閣

二〇〇八年 二月 「東京都弁天山の棚田―あきる野市大字網代字引谷の事例―」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』五三

同 一〇月 「山田ノ畔、重々ニ高シテ―水田農耕社会から見た楠木正成―」『懸樋抄―海老澤衷先生還暦記念論文集―』海老澤衷先生の還暦を祝う会編

二〇〇九年一〇月 「鎌倉時代の立荘と村落形成―日根荘日根野村の誕生をめぐる―」『歴史評論』七一四

二〇一〇年一〇月 「棚田と水資源を活用した楠木正成」『アジア遊学』136 環境と歴史学―歴史研究の新地平―

二〇一一年一月 「荘園景観の保存と活用」『日本歴史』七五二

二〇一二年 四月 「棚田の魅力と棚田保全」千賀裕太郎編『農村計画学』朝倉書店

- 同 六月 「田染莊域における水田開発の諸段階と小崎」『重要文化的景観への道』勉誠出版
- 同 七月 「重要文化的景観選定プロセスにおける田染モデル」『棚田学会誌 日本原風景・棚田』一三
- 二〇一三年 七月 「中世における水田開発と鉄生産―備中国新見荘の場合―」『考古学と中世史研究10 水の中世―治水・環境・支配―』高志書院
- 同 一〇月 「文化的景観の危機と再生―東アジアの村落景観をめぐって―」WASEDA RILAS JOURNAL NO. 1 (飯分徹と共著)「高瀬・釜村の信仰・水利・下地中分―氷室神社と亀尾神社―」『中世の荘園空間と現代』勉誠出版
- 二〇一四年 二月 「備中国新見荘の調査と「多層荘園記録システム」」『中世の荘園空間と現代』勉誠出版
- 同 一二月 「里山とたたら製鉄」『こころの未来』一四 京都大学こころの未来研究センター
- 二〇一五年 七月 「棚田と水資源を活用した楠木正成」水島司編『環境に挑む歴史学』勉誠出版
- 二〇一六年 一〇月 「鎌倉幕府の成立と惟宗忠久―朝河貫一研究との関連で―」『朝河貫一と日欧中世史研究』吉川弘文館
- 二〇一七年 三月 「荘園から城下町へ―継承されるハザードへの対応と流通、文化」『中世荘園村落の環境歴史学―東大寺領美濃国大井荘の研究―』吉川弘文館
- 二〇一八年 七月 「和名抄郷の持続性と自然頭首工」大山喬平・三枝暁子編『古代・中世の地域社会―「ムラの戸籍簿」の可能性』思文閣出版
- 同 九月 「重要文化的景観と豊後国田染荘」『よみがえる荘園―景観に刻まれた中世の記憶―』勉誠出版
- 二〇一九年 二月 「バリ島イメージの形成と日本」『アジア遊学230 世界遺産バリの文化戦略―水稻文化と儀礼がくる地域社会―』勉誠出版
- 同 二月 「スバック・バサンアラスの形態的特質と東アジアの水利社会」『アジア遊学230 バリ島の文化的戦略―世界遺産への道―』勉誠出版
- 同 三月 「『大化の改新の研究』と近代日本史学の岐路」『朝河貫一と人文学の形成』吉川弘文館